

(西暦) 2015 年 6 月 19 日

【熱中症】の【治療】のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 救急医学 職名 教授
氏名 堀 進悟
連絡先電話番号 03-3225-1323
実務責任者 所属 救急医学 職名 助教
氏名 上野 浩一
連絡先電話番号 03-3225-1323

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、上野までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2015 年 7 月 1 日より 2014 年 8 月 31 日までの間に、【救急科】にて【熱中症】の【治療】のため【入院】し、【診療】を受けた方

2 研究課題名

日本救急医学会 熱中症に関する調査への参画

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部【救急医学】・慶應義塾大学病院【救急科】

日本救急医学会 熱中症に関する委員会 委員長 三宅康史

日本救急医学会指導医指定施設、救急救命センターおよび大学病院救急部(科)

4 本研究の意義、目的、方法

当院は、日本救急医学会熱中症に関する委員会が実施する熱中症調査の即日 Fax 登録に参加します(詳細は日本救急医学会 <http://www.jaam.jp>参照ください)。これは例年同学会で行われている調査であり、当院も例年倫理委員会の承認を得て、参加しています。

目的：日本救急医学会 熱中症に関する委員会は 2006 年から隔年で 4 回にわたり熱中症患者の実態に関する全国調査を行ってきました。これらの調査結果から、高齢者を中心に日常生活の中で発生する熱中症が重症化しやすいことなどが明らかとなり、住民に対する啓発活動が熱中症の発症予防、延いては重症化の予防に重要であることも指摘されています。本研究は、熱中症発生の実態調査で

あり、救急医療施設における熱中症患者の急増を即時に把握して、関係諸機関へ警告することを目的として行うものです。

方法：救急科診療患者のうち、熱中症と診断され、入院となった患者が対象となります。情報を調査票に記入し、日本救急医学会に即日 FAX 送付します。同様に日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中病院の救急部で熱中症と診断された患者の医療情報等とともに集計され、解析の後に発生予防を含めた対策について検討が行われます。

5 協力をお願いする内容

上記情報を収集するために、診療録の閲覧をさせていただきます。

通常の熱中症診療のための診療費以外の費用負担は一切ありません。

通常の熱中症診療目的以外の検査や検体採取(血液など)は一切ありません。

6 本研究の実施期間

西暦 2015 年 7 月 1 日～ 2015 年 8 月 31 日 (予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、年齢、性別のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

【上野浩一・救急医学教室・03-3225-1323】

以上